



平成 18 年 6 月 1 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所 1 号機 の出力降下について

敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉：定格電気出力 35 万 7 千キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、平成 18 年 6 月 1 日 18 時 44 分頃、復水器 B 室の復水電導度が上昇していることを確認し、その後、18 時 59 分に電導度高警報が発報※（設定値 $0.2 \mu S/cm$ ）しました。

復水器 B 室内の復水について水質測定を行った結果、復水器 B 室内で海水漏えいが発生していると判断されたため、本日 21 時 00 分より、出力降下を開始しました。

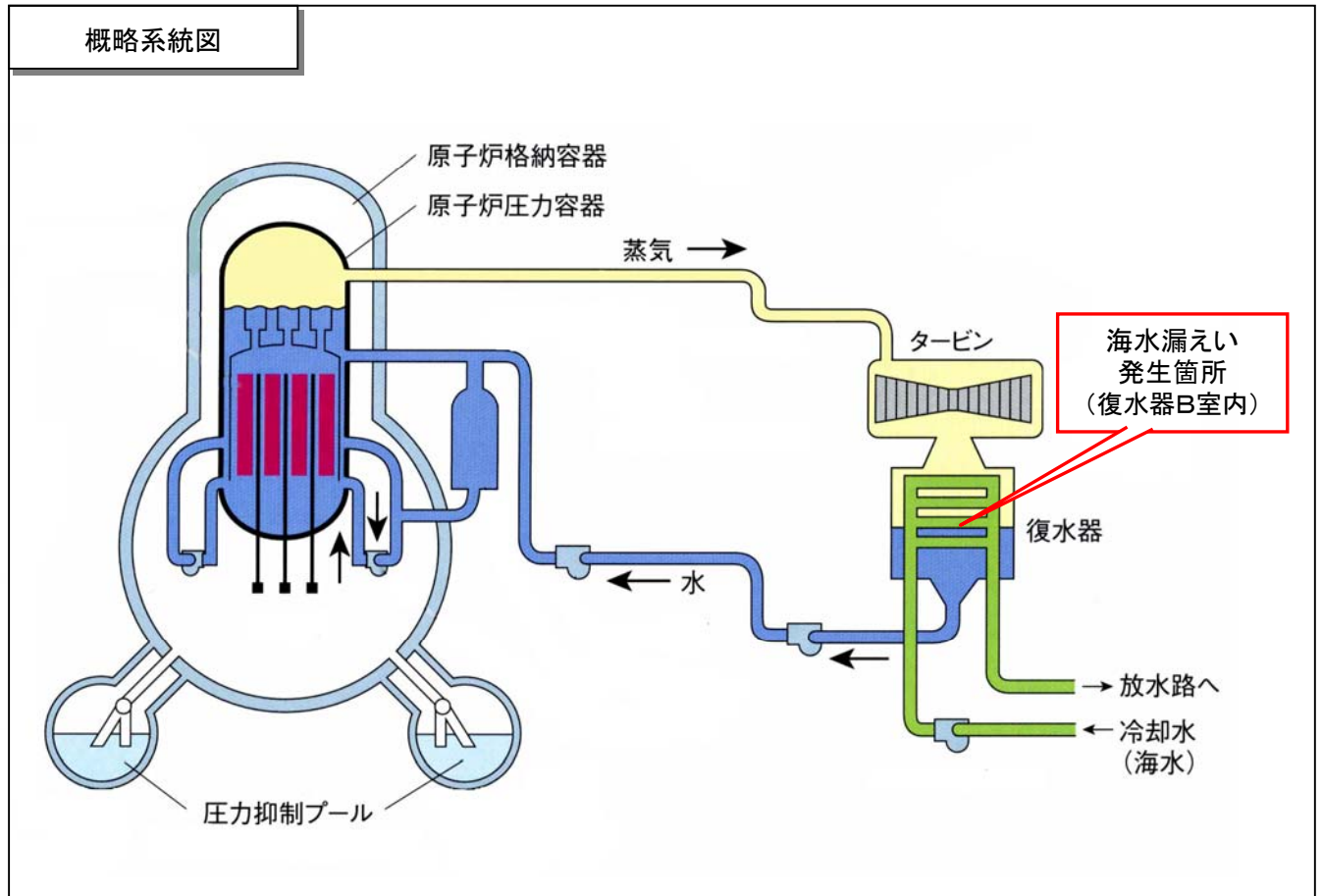
今後、出力を約 50% まで降下させた後、復水器 B 室を隔離して点検を実施する予定です。

※：復水器では、タービンを回した蒸気を海水を利用して冷却しているため、復水器細管から漏えいが発生した場合、海水により復水の電導度が上昇する。

添付資料：給復水系 系統図

以 上

給復水系 系統図



設備仕様

設備総数：1台
 形式：表面接单流2区分式
 本体材質：炭素鋼
 冷却管外径：25.4mm
 冷却管厚さ：1.245mm
 冷却管総数：23,772本/2室
 冷却管材質：アルミブラス